

一般言語学



[一般言語学 下载链接1](#)

著者:Roman Jakobson

出版者:みすず書房

出版时间:

装帧:

isbn:9784622019701

現代の言語学における重鎮ロマーン・ヤーコブソンの研究は、モスクワ大学ラザレフ東洋語学院以来、モスクワ言語学集団、プラーグ言語学集団への創設・参加を経て、ナチスの侵略にあって居をアメリカに移してからの、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学の講義にいたるまで、つねに独創的な発展を示してきた。たとえば、構造主義的な考え方は、古く未来派の詩人たちとの交流のなかで形成され、後年アメリカにあってレビュイ=ストロースと〈相互に教師であり、同時に生徒である〉ような親交を結ぶにいたり、文化の新しい地平を開拓することになった。

本書は、人類学者・言語学者会議で講演された現代言語学の状況に関するみごとな分析と展望にはじまり、失語症の問題、音韻論、詩学、通信工学、さらに言語学と隣接諸科学との関連など、広範な領域をカバーする秀れて代表的な論文からなっている。この多様な知的業績に一貫している基調は、言語を〈孤立化に対する戦い、孤立化の征服〉として考察するヒューマニスティックな姿勢であり、境界領域へ積極的にふみこんでいく開かれた精神である。人間文化を探求するにさいして言語学の占める地位がますます重くなった現在、細心に編集されたこれらの論考は、教授の全体を望見させる一方、もっとも卓出した現代言語学入門ともなっている。

作者紹介:

1896年モスクワに生れる。ラザレフ東洋語学院、モスクワ大学

大学院を卒業。1915年モスクワ言語学集団を創設。1920年チェコスロヴァキアに移り、マサリック大学においてロシア語学などを講ずる。1926年プラハ言語学集団の創設に参加し、トゥルベツコイを援けて活躍。1939年ナチスの侵入にあって、デンマークとスウェーデンに2年間滞在し、それからアメリカへ移る。1942-47年ニューヨークのEcole Libre des Hautes

Etudesにあり、その間にレヴィ=ストロースと相知る。ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学の教授を兼任。両大学名誉教授。1982年歿。教授の業績は多方面にわたるが、その集成として現在、Selected Writings of

Roman Jakobson (The Hague: Mouton、1962—) が刊行中である。邦訳は、『音声分析序説』(研究社、1965) など多数。

目录:

[一般言語学 下載链接1](#)

标签

语言学

語言學

评论

叙情詩では隠喩的構造が、叙事詩では換喩的構造が支配的なのは明らかです。また、ヤーコブソンはトルストイやチャップリンまで登場させて自身の言語論を展開してい

ます。

[一般言語学 下载链接1](#)

书评

[一般言語学 下载链接1](#)